

センマイ(会館生) ミャンマー(ヤンゴン市)

敬愛大学 国際学部 国際研究学科

OSF会館の一年間の生活経験

私は先輩のジョセフさんに紹介されて、2006年の12月からOSF学生会館に入ることが出来ました。

会館に入る前に優しい館長が面接してくれて、会館に入る許可をくれました。その時から優しい館長は私の優しいお父さんになりました。お父さんは新しく入って来た私を暖かい心でいつも応援してくれました。お父さんの奥さんもとても優しくて本当に可愛い人だなと思いました。でも会館ではお母さんとは呼ばず、有子さんと可愛く呼んでいるのが面白かったです。

最初は寂しかったけれど、会館生の先輩達も皆明るくて楽しかったので、だんだん楽しくなりました。会館に入る前、失恋していた私は会館に入ったばかりの時、顔が暗かったと先輩のマイさんに言われました。でも会館に入って間もなく、暗かった私はだんだん明るい生活を送れるようになりました。それは会館の優しい皆さんのおかげです。学校やアルバイトで毎日忙しい私を、お父さんと会館の先輩達がいつも応援してくれたのは、私にとって頑張る力となりました。お父さんと先輩たちの応援を「頑張ります」と笑顔で答えられるようになり、本当に頑張りました。

会館の皆さんはそれぞれ違う国々から来た学生ですが、一つの家族みたいな雰囲気がしました。私の人生で今の家族と出会えるなんて、夢にも思わなかったことです。



その雰囲気をいつまでも続けて欲しいと思っています。ですから、この後新しく入って来る後輩たちのため、明るくて優しい先輩になりたいです。会館に入ったからこそ色々な人と友達になれたのだから、その出会いを大事にしなければならないと思います。

人間は一人で生きていくより、たくさんの人と交流しながら人生を過ごすことが、とても重要だと分かるようになりました。それは、財団で行われた年忘れパーティーやsee you againパーティー、OB会、様々な交流会などに参加したことがきっかけです。

OSF財団があることによって、優秀な留学生が支えられるだけではなく、たくさんの方がさまざまな人と出会うことができます。それに、日本語の授業もボランティアで行われているため、日本語の不十分な私たち留学生だけではなく、色々な人も楽しんで勉強できるのでとても助かります。

私も日本語の勉強だけではなく、人と人が助け合うことなど、人生において学ぶべきこともたくさん分かってきました。今まで勉強したことをきっかけにして、これからの人生をもっと明るく、元気よく頑張りたいと思います。

王 維? (会館生) 中国(上海市)

千葉大学 人文社会科学研究科 公共研究専攻

私の研究活動

私が修士2年間で選考したのは国際公共政策である。なぜこの専攻を選択したのか。学部時代の専攻は国際開発であった。大学院に入ってからごく自然に国際公共政策へと進展したのである。突き詰めて考えたことはなかったが、よく考えてみたら、私は6年間も国際に関係あることを学んでいるのである。

21世紀に入り、グローバル化へのスピードが加速している中で、世界政治や経済社会の安定、平和の持続からは遠く、地球温暖化、環境問題など、さまざまな課題が生じている。博士課程では公共研究専攻を選択した。この分野を専攻した理由は、歴史・文化・哲学・思想など基礎的公共研究と、環境・福祉・平和といった実践的公共研究を融合して学ぶことが出来る点にある。そして、これらの文化的な背景をきちんと把握した上で、公共的な諸問題を考え、解決に導くことを目的としている。

現在、中国では、所得格差の拡大が社会の不安定化をもたらし、体制そのものを揺るがしかねないとの懸念が広がり始めている。格差拡大を是正し、中産階級を育成



していくことが中国政府にとっての緊急課題である。なぜなら、中産階級の増大により、相対的に貧富の格差が縮小すれば、各所得階層間の対立を緩和する役割を果たすからである。今後の目標は、日本とアメリカの中産階級に関する歴史研究を深化し、国際比較を通じて所得格差の原因を解明し、格差解消のための政策提言を行う。また、日本とアメリカの所得再分配政策を検討することで、中国でもそれを生かせるのではないだろうか。博士課程での研究テーマは、「中国における中産階級の実態分析と経済政策、アメリカ・日本との歴史的比較」を取り上げる。

私は公共研究専攻で勉強できることは大変幸せなことと思っている。経済学と社会学を勉強しながら、さらに国際関係の知識を身に付け、少しでも中国の社会発展に貢献したいと思っている。